

コンパス薬局横浜西 スキルアップ勉強会

2019. 2. 19 作佐部

第140回『トアラセット配合錠「杏林」』

キョーリン リメディオ株式会社 牧本 学さま

参加者：佐藤、高柳、渡辺、照本、峯尾、作佐部

キョーリン リメディオ株式会社はキョーリン製薬グループのジェネリック医薬品を主に扱う会社である。石川県の金沢市に本社を置いている。

【効能・効果】（先発医薬品と同じ）

非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛

非がん性慢性疼痛

抜歯後の疼痛

【用法・用量】（先発医薬品と同じ）

非がん性慢性疼痛：

通常、成人には、1回1錠、1日4回経口投与する。投与間隔は4時間以上空けること。

なお、症状に応じて適宜増減するが、1回2錠、1日8錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。

抜歯後の疼痛：

通常、成人には、1回2錠を経口投与する。

なお、追加投与する場合には、投与間隔を4時間以上空け、1回2錠、1日8錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。

【用法・用量に関連する使用上の注意】（先発医薬品と同じ）

1. 投与の継続

慢性疼痛患者において、本剤投与開始後4週間を経過してもなお期待する効果が得られない場合は、他の適切な治療への変更を検討すること。また、定期的に症状及び効果を確認し、投与の継続の必要性について検討すること。

2. 投与の中止

慢性疼痛患者において、本剤の投与を必要としなくなった場合は、退薬症候の発現を防ぐために徐々に減量すること。

【副作用等発現状況等の概要】

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

【特徴】

- ・錠剤に製品名、屋号を両面印字
- ・PTP に製品名を中央に大きく表示
- ・PTP 一錠毎に GS1 データバーコード・成分名・含量を表示
- ・PTP にアドヒアランス向上のため、「疼痛治療剤」と記載
- ・バラ包装に副片ラベル採用
- ・バラ包装で300錠包装を用意

【考察】

錠剤の大きさはほぼ同等であり、PTP シートもよく似たデザインになっている。添加物も同じ種類のものを使用しているため、安心して患者に勧められる。錠剤の製品名両面印字は一包化を確認する上でとても見やすく、患者自身も判別しやすい。

【質問事項】

- Q. バラ包装の蓋にラベルと付けるのではなく副片ラベルを採用したのはなぜ？
- A. 予算の都合上。
- Q. 副作用は先発医薬品と変わらないのか？
- A. 変わらない。

以上